

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-1-1	事務事業名 こもれびホール改修事業	所管部課 生活文化スポーツ部 文化振興課
----------------	----------------------	----------------------------

施策コード 創3-4	施策名 芸術・文化活動の振興	施策目標 市民の芸術・文化活動を支援するとともに、郷土の歴史である文化財を保護し、地域文化を大切にすまちをめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業開始時期	平成21 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		13,821	14,563	84,239	21,723
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		9,800	9,430	80,530	15,300
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	2,000
一般財源		4,021	5,133	3,709	4,423
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.21	0.18
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	808	817	1,617	1,482
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	14,629	15,380	85,856	23,205
単位当たりコスト(E)=(D)/(こもれびホール改修事業経費)	千円	1	1	1	1

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①こもれびホール改修事業経費	実績値 千円	13,821	14,563	84,239	21,723
②改修工事件数(契約数)	実績値 件	8	5	10	2
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
保谷こもれびホールにおける施設及び設備の大規模修繕については、施設運営指定管理者との協定により施設所有者である西東京市にて対応し、小規模(50万円以下)の修繕は指定管理者にて実施することとなっている。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 改修工事に伴う営業補償費	目標値 千円	0	0	2,565	2,031
	実績値 千円	0	0	2,565	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
改修工事等の実施期間中は、施設の貸出が出来ないために利用料金制による施設運営においては長期間の工事は資金運用に影響されるため、工事期間中の施設利用に係る利用料の補償の行う。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	施設利用者の意見については、施設運営管理者である指定管理者が取りまとめ、月次等の報告や定例会議などで市に報告されており、市民や団体の意見を把握している。内容については円滑な運営がなされていることを伺わせるものとなっている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 施設ごとに形状や利用頻度等が異なるため数値的な比較は出来ないが、民間会社による運営のサービス水準が高く、施設の設備についても観客と舞台が一体となる臨場感あふれる施設と言える。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 施設機能や規模は異なるが、「市民会館」「コール田無」は、「こもれびホール」と同様、利用者に対価をいただく有料の文化施設施設である。

事業コード 7-1-1	事務事業名 こもればホール改修事業	所管部課 生活文化スポーツ部 文化振興課
----------------	----------------------	----------------------------

施策コード 創3-4	施策名 芸術・文化活動の振興	施策目標 市民の芸術・文化活動を支援するとともに、郷土の歴史である文化財を保護し、地域文化を大切にすまをめざします。
---------------	-------------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	■ 拡充 □ 継続実施 □ 改善・見直し	<p>保谷こもればホールは、市内外は問わず利用者に施設使用料を負担させる文化ホールで、著名な事業の自主開催をはじめ、市内の教育組織をはじめ市民団体の文化・芸術の交流拠点として民間企業により運営されている施設で、市内には無二の施設と言える。市の文化・芸術の拠点としての位置づけのほか、有償による施設サービスを安定して提供する必要がある、来館者への安全を保障することが求められることから、定期的な施設設備の改修が求められる。</p> <p>文化ホールという特殊性から舞台設備を中心とした施設改修事業は多額の改修費用を要するため、当該施設を運営している指定管理者と協議し優先度を吟味し、計画的に施設の改修整備事業を実施していくことが必要とされる。</p> <p>舞台関係以外においてもホールの席の改修や、その他の施設備品についても経年劣化が進行しており、計画的に改修を行うことにより、市の財政負担軽減を図る必要がある。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3	□ 改善・見直し □ 抜本的見直し □ 休止	
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2	□ 廃止	
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目				

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	□ 拡充 ■ 継続実施 □ 改善・見直し	<p>こもればホールは、建設から15年経過しており、経年劣化により施設・設備を計画的に改修し、来館者が安全かつ快適に利用できるように求められている。</p> <p>しかし、舞台設備や音響設備、照明設備等の施設改修は多額の費用を要するため、今後の財政状況を踏まえ、優先順位をつけて、必要部分を精査し、計画的な改修を行っていく必要がある。</p> <p>さらに、ネーミングライツやPFIの手法など経費節減できる方策も検討されたい。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3	□ 改善・見直し □ 抜本的見直し □ 休止	
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2	□ 廃止	
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目				

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>こもればホールは、市の文化・芸術の拠点として、利用者にとって安全な利用環境の確保が必要であることは、一次評価・二次評価において指摘のとおりである。</p> <p>しかしながら、施設の改修にあたり多額の費用を要する点については、本市の置かれた厳しい財政状況を十分に踏まえ、指定管理者との十分な協議の下、優先順位付け、必要部分の精査、経費節減の手法を検討し、最大限のコスト効率化、後年度の負担の平準化を実現されたい。</p>